

[7 日目] 10 月 14 日

日時・時間	10 月 14 日(金) 8:30~10:00	・ 1 時間 30 分
講義名	トンネルの設計	
講師名	鹿島建設顧問(土木学会トンネル工学委員会委員長) 木村 宏	
講義形態	講義	
実施場所	愛媛大学防災情報研究センター 2 階研修室	
内容	1. トンネルの設計を考える前に <ul style="list-style-type: none"> ・ トンネルとは何か ・ トンネルの目的と機能、種類と分析 ・ トンネルが他の構造物と大きく異なっている点は、何か ・ トンネルのもうひとつの特殊性 2. トンネルの設計 <ul style="list-style-type: none"> ・ トンネルの設計とは? ・ トンネルの設計を考える要点 ・ トンネル施工の影響特性の把握 ・ トンネル設計を支える学問領域 3. まとめ	

日時・時間	10 月 14 日(金) 10:20~11:50	・ 1 時間 30 分
講義名	トンネルの維持管理	
講師名	応用地質(株)エンジニアリング部 太田裕之技師長	
講義形態	講義	
実施場所	愛媛大学防災情報研究センター 2 階研修室	
内容	1. トンネルの基礎知識 <ul style="list-style-type: none"> ・ 施工方法によるトンネルの分類 ・ 道路トンネルの保有状況 ・ 山岳トンネルの施工方法の変遷と特徴 ・ トンネルの変状 2. 道路トンネルの維持管理の概要 <ul style="list-style-type: none"> ・ 道路トンネルの維持管理の流れ ・ 点検・調査 ・ 健全性の診断 ・ 措置 ・ 記録 	

日時・時間	10月14日(金) 12:40~17:50	・ 4時間30分
講義名	トンネルの維持管理	
講師名	応用地質(株)エンジニアリング部 太田裕之技師長	
講義形態	現場実習 (フィールドワーク)	
実施場所	今治市菊間町田之尻 国道 196 号線 砥鹿山隧道	
内 容	<p>1. 現場実習対象トンネル概要 トンネル延長 59m 竣工年次 1968 年</p> <p>2. 現場実習準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現地安全対策の確認 (車線規制、看板、管理等による安全管理) ・ 現地安全管理 13:00~15:40 <p>3. 現場実習(静進橋) 13:30~15:30</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ トンネル内で現場実習の内容、全体説明。 ・ トンネル近接目視として、高所作業車に班毎(6班に分類)に乗り込み、点検内容の説明、要領、注意点等を受ける。また、打音検査も行い、覆工コンクリート(覆工背面の空洞残存等)の状況も判定する。(15分/班) ・ 高所作業車には安全帯を取り付けて点検する。 ・ 各班毎にトンネル区間を分割して、変状展開図の作成を行う。漏水、き裂、変形、水平方向のコールドジョイント、対策工の効果等について観察しながら、展開図を作成する。 ・ 変状展開図は、図面に記入するとともに、写真も撮影する。 <p>4. 現場実習の取りまとめ (愛媛大学防災情報研究センター2階研修室) 16:20~17:50</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 班毎に現場実習成果の整理、取りまとめを行う。 ・ 現場実習成果と撮影した写真をパソコンに取り込む。 ・ 班毎に成果を発表し、講師より指導を受ける。 ・ 最後に、指導講師より注意点、感想等を受ける。 	